



さわやか

令和3年7月2日

校長 井上 勝文

担当 石垣 孝明



「文武両立」は本当に難しいのか？

校長 井上 勝文

7月に入り、一学期のまとめを行う時期となりました。コロナ禍の学校運営は続きますが、生徒たちは日々多くのことを学んでくれたのではないかと思います。

先月行われた、「加賀地区大会兼県体予選」及び「県陸上競技大会」では、本校の生徒たちの輝かしい活躍が目立ちました。県体に出場できるのは、県内の運動部所属生徒の約20%なのですが、**宇ノ気中は、なんと36%の生徒が県体出場権を獲得**しました。本当によく頑張り素晴らしい結果を残してくれました。

私は、全ての会場を応援で廻りきることはできませんでしたが、勝った喜びでいっぱい選手たちも見たし、県体出場を果たせず、**悔し涙を流し、大泣きする選手たち**の姿もたくさん見た印象深い大会でした。

勝負の世界ですから、勝ち負けがつくのは当然のことです。ただ、**不思議な勝ちはあるても、不思議な負けはない**と思っています。心・技・体の総合力が劣っていれば負けるのです。

今後、さらなる高みを目指し、努力を重ねるとともに、**負けて悔しい思いをしている他の中学生の分まで頑張りたい**と思います。県体まであとわずか。しかし、この短期間の中にあっても、自分自身の中に**「限界」という壁**を作らなければ、技術的にも精神的にも、まだまだ伸びることができます。

部活動では、こんなにも輝かしい活躍を見せてくれる生徒たちですが、**授業の雰囲気には今一つ活気がありません**。真面目に取り組もうとする姿勢は見えるのですが、**「自分の考えを積極的に発表する力・表現する力」が圧倒的に弱い**と思っています。

ノートに素敵な考えが書いてあるのに**挙手できない**。どうしてだろうと思いつつ、日々の授業を参観しています。恥ずかしいのか、一生懸命頑張ろうとする者の足を引っ張ろうとする雰囲気があるのか…。

教室という**「学びの空間」**では、**失敗や間違いを恐れない**で、考えを出し合うことで、互いの力を高め合うことができるのです。今後、学校では各教科をはじめとして**「自分の考えを積極的に表現する力」**を高める教育活動に力を注いでまいります。

一方、挨拶については、元気でさわやかな挨拶の質が高まってきました。**「あいさつ日本一」の学校**とは、出会う生徒全員が「挨拶」という反応を返す学校。**今の宇ノ気中学校で達成できなければ、石川県内で達成できる学校は存在しない**と思っています。ただ、**今一つ残念なことは、地域での挨拶ができない**こと。今後、各家庭・地域と連携しながら、挨拶の輪を地域にも広げていきたいと思っています。

保護者・地域の皆様には、今後とも本校の学校運営にご理解とご協力をお願い申し上げます。本校の子どもたちのことで気になることがございましたら、どうぞ遠慮なくご連絡願います。 TEL 076-283-0065



最後の大会 全力で

■ソフトボール部・ソフトテニス部の活躍

今年度廃部となる女子ソフトボール部と女子ソフトテニス部（個人戦出場）が、加賀地区県体予選を勝ち抜き、今月開催予定の石川県中学校体育大会への出場権を獲得しました。宇ノ気中学校の最後の部員として県体でも精一杯の頑張りを見せ、有終の美を飾ってくれることを期待しています。保護者・地域の皆様の心からの応援をお願いします。

＜県体出場する選手の皆さん＞

◎ソフトボール部

澤本那美（主） 國田海空 藤井愛海 宮下百加 気谷咲耶 最上さわ
田中 凜 田中莉々愛 木下歩美 長田璃香 松村歩美

◎ソフトテニス部（個人戦）

橋本まゆ（主） 川上紗弥

みんな頑張れ！

かほく市宇ノ気中で、今年度廃部となる女子ソフトボール部と女子ソフトテニス部が、最後の大会となる19日開幕の加賀地区中学校体育大会に臨む。メンバーは、女子ソフトボール部には3人が所属している。ソフトテニス部の澤本那美主将（3年）は、「人数が少ない分、充実した練習ができた」と意気込み、ソフトボール部は、「思い切り力を、つきたい」と話した。

宇ノ気中 女子ソフト、ソフトテニス部
今年度36人に減少。18年からPTA役員や市体育協会と部活動の削減に関する協議を進めた結果、両部の廃部が決まった。現在、女子ソフトボール部には3人が所属している。ソフトテニス部の澤本那美主将（3年）は、「人数が少ない分、充実した練習ができた」と意気込み、ソフトボール部は、「思い切り力を、つきたい」と話した。

○7月の生活目標

「1学期を締めくくろう」 キーワード：凡事徹底

1学期を学校全体で振り返ってみると、あいさつについては、遠くからさわやかにあいさつをする生徒が多くなりました。来校された方々からも「さわやかなあいさつですね」と言われており、良くなってきていると感じています。

一方で、地域の方へのあいさつができていなかったり、SNSのトラブルや物がなくなったりすることもありました。その都度、生徒に注意喚起や指導をしており、今後も指導を徹底していきます。

さて、有意義な夏休みを過ごすために、また、2学期の良いスタートを切るためには1学期をきちんと締めくくることが大切です。キーワードは「凡事徹底」です。凡事徹底とは、なんでもよいような当たり前のことを徹底的に行うこと、当たり前のことを極めて他人の追従を許さないことです。宇ノ気中学校では、「あいさつ日本一」を目指しています。あいさつを極めることが目標の達成につながります。当たり前のことを全員で徹底して、残りの1か月、頑張りましょう。

○7月の学習目標

「1学期を振り返り、自分の苦手を克服しよう」

期末テストが終わってから夏休みまでのこの期間、少し気が抜けやすい時期になります。しかし、授業ではテスト前と同じく大切な内容が扱われています。勉強時間を確保して、毎日の復習に取り組みしましょう。もちろん1日の勉強時間は、1年生1時間半、2年生2時間、3年生2時間半、部活がない場合は4時間です。

また、授業で学んだところのワークは夏休み前までに進めておきましょう。こまめに復習する（＝思い出す）ことで学習内容は身に付きます。それに、夏休みが終わって2学期が始まったとき、課題がたまっている状態ではよいスタートは切れません。きちんと終わらせて、夏休みを迎えましょう。

《自転車の交通安全について》

地域の方より生徒の自転車マナーについてお電話があります。以下のことを今一度守って安全に自転車を運転しましょう。

- ・歩道のない通りにおける自転車は原則**左側通行**をすること
- ・**一列で走る**（並列走行はいけません）
- ・歩行者を抜くときは徐行すること。



《不審者への対応について》

不審者に声をかけられたなど身の危険を感じた場合は、「いかのおすし」を徹底し、自らの安全を守りましょう。また、保護者の方や学校に連絡しましょう。

《熱中症について》

7月は、気温の変化が大きい日や湿度が高い日も多くあり、熱中症になりやすい時期です。こまめな給水、十分な睡眠とバランスの取れた食生活を心がけ、熱中症を予防しましょう。

